

# 令和7年度 第47回通常総会資料

1. 令和6年度事業報告
2. 令和6年度収支決算報告
3. 令和6年度監査報告
4. 令和7年度事業計画
5. 令和7年度事業予算
6. 令和7年度役員改選

令和7年5月30日

一般社団法人 日本応用地質学会九州支部

# 総会次第

開会の辞	総合司会
1. 支部長あいさつ	支部長
2. 議長選出	総合司会
3. 総会成立宣言	議長
4. 令和6年度事業報告	代表幹事
5. 令和6年度収支決算報告	事務局
6. 令和6年度監査報告	会計監事
7. 令和7年度事業計画	代表幹事
8. 令和7年度事業予算	事務局
9. 令和7年度役員改選	支部長
10. 議長解任	議長
開会の辞	総合司会

## 1. 令和6年度 事業報告

### 【会議】

#### 第46回通常総会

(1) 日 時：令和6年5月31日(金) 14:15～16:05

(2) 場 所：電気ビル共創館3F カンファレンスC  
(リモート併用)

(3) 内 容：

- ・支部長あいさつ : 池見 洋明(支部長)
- ・議長選出 : 池見 洋明(支部規程による)
- ・総会成立宣言 : 池見 洋明(議長)

個人会員総数 187名

出席者 128名(内委任状63名)

会員総数の1/5(38名)以上出席の為総会成立

(支部運営規定第15条)

- ・令和5年度事業報告 : 矢野 健二(代表幹事)
- ・令和5年度収支決算報告 : 川口 小由美(事務局)
- ・令和5年度監査報告 : 萩野 晃平(監事)
- ・令和6年度事業計画 : 矢野 健二(代表幹事)
- ・令和6年度事業予算 : 川口 小由美(事務局)
- ・令和6年度役員改選 : 矢野 健二(代表幹事)
- ・議長解任
- ・閉会

#### 支部役員会(幹事会)

##### 第6回幹事会(令和5年度幹事会)

(1) 日 時：令和6年4月19日(金) 17:00～19:00

(2) 場 所：応用地質株式会社 大会議室

(3) 出席者：20名(会場14名, オンライン6名)

池見 洋明支部長, 大石 博之副支部長, 矢野 健二代表幹事, 安達 浩平, 碓井 敏彦, 宇都 秀幸, 梅崎 基考, 小野山 裕治, 川口 小由美, 小泉 友美, 島内 健, 徳田 充樹, 永井 宏樹, 中川 将, 中司 龍明, 縄田 徳広, 松崎 達二, 森 秀樹, 矢田 純, 山田 好之助 各役員

欠席者：宇都 忠和 各役員

(21名中20名出席により総勢20名であり, 幹事会は成立)

(4) 議事内容

- 1) 前回幹事会議事録
- 2) 令和6年度総会資料(案)
- 3) 令和5・6年度事業報告と予定(講習会, 見学会, 研究発表会, 会報GET九州, 広報, 魅力発信委員会)
- 4) 本部連絡事項
- 5) その他・審議事項

##### 第1回幹事会

(1) 日 時：令和6年6月28日(金) 17:00～19:30

(2) 場 所：応用地質株式会社 大会議室

(3) 出席者：20名(会場9名, リモート11名)

池見 洋明支部長, 大石 博之副支部長, 矢野 健二代表幹事, 碓井 敏彦, 宇都 忠和, 宇都 秀幸, 梅崎 基考, 川口 小由美, 小泉 友美, 島内 健, 新谷 俊一, 徳田 充樹, 永井 宏, 中川 将, 中司 龍明, 縄田 徳広, 松崎 達二, 森 秀樹, 矢田 純, 山田 好之助 各役員

欠席者：安達 浩平, 小野山 裕治 各役員(〃は委任状あり)

(22名中20名出席, 1名委任状提出により総勢21名であり, 幹事会は成立)

(4) 議事内容

- 1) 前回幹事会議事録
- 2) 総会・講演会
- 3) 委員会構成について
- 4) 事業予定(講習会, 見学会, 研究発表会, 会報, 広報, 魅力発信特別委員会)
- 5) 本部連絡事項
- 6) その他連絡・審議事項

##### 第2回幹事会

(1) 日 時：令和6年8月23日(金) 17:00～19:30

(2) 場 所：応用地質株式会社 大会議室

(3) 出席者：18名(会場9名, リモート9名)

池見 洋明支部長, 大石 博之副支部長, 矢野 健二代表幹事, 安達 浩平, 碓井 敏彦, 宇都 忠和, 宇都 秀幸, 梅崎 基考, 小野山 裕治, 島内 健, 新谷 俊一, 徳田 充樹, 永井 宏, 中司 龍明, 松崎 達二, 森 秀樹, 矢田 純, 山田 好之助 各役員

欠席者：川口 小由美, 小泉 友美, 中川 将, 縄田 徳広, 各役員(〃は委任状あり)

(22名中18名出席, 4名委任状提出により総勢22名であり, 幹事会は成立)

(4) 議事内容

- 1) 前回幹事会議事録
- 2) 事業予定(講習会, 見学会, 研究発表会, 会報, 広報, 魅力発信委員会)
- 3) 本部連絡事項
- 4) その他連絡・審議事項

##### 第3回幹事会

(1) 日 時：令和6年10月18日(金) 17:30～19:30

(2) 場 所：応用地質株式会社 大会議室

(3) 出席者：19名(会場10名, リモート9名)

池見 洋明支部長,大石 博之副支部長,矢野 健二代表幹事,安達 浩平,宇都 忠和,梅崎 基考,小野山 裕治,川口 小由美,小泉 友美,島内 健,新谷 俊一,田中 慎吾,徳田 充樹,永井 宏,中川 将,縄田 徳広,松崎 達二,森 秀樹,山田 好之助 各役員

欠席者:碓井 敏彦,宇都 秀幸,中司 龍明,矢田 純 各役員(〃は委任状あり)

(23名中19名出席により総勢19名であり,幹事会は成立)

#### (4) 議事内容

- 1) 前回幹事会議事録
- 2) 事業報告(講習会)
- 3) 事業予定(見学会,研究発表会,会報,広報,魅力発信特別委員会)
- 4) 本部連絡事項
- 5) その他連絡・審議事項

#### 第4回幹事会

(1) 日 時:令和6年11月29日(金) 17:30~19:30

(2) 場 所:応用地質株式会社 大会議室

(3) 出席者:21名(会場9名,オンライン12名)

池見 洋明支部長,大石 博之副支部長,矢野 健二代表幹事,安達 浩平,宇都 忠和,宇都 秀幸,梅崎 基考,川口 小由美,小泉 友美,島内 健,新谷 俊一,田中 慎吾,徳田 充樹,永井 宏,中川 将,中司 龍明,縄田 徳広,松崎 達二,森 秀樹,矢田 純,山田 好之助 各役員  
欠席者:碓井 敏彦,小野山 裕治 各役員(〃は委任状あり)

(23名中21名出席により総勢21名であり,幹事会は成立)

#### (4) 議事内容

- 1) 前回幹事会議事録
- 2) 令和6年度 事業中間報告(第46回通常総会,講習会,見学会,研究発表会,会報,広報)
- 3) 令和5年度 収支中間報告
- 4) その他事業報告(魅力発信特別委員会,先進建設・防災・減災技術フェア in 熊本2024,九州災害碑WG)
- 5) 本部連絡事項
- 6) その他連絡・審議事項

#### 第5回幹事会

(1) 日 時:令和7年2月14日(金) 17:30~19:00

(2) 場 所:応用地質株式会社 大会議室

(3) 出席者:23名(会場10名,オンライン13名)

池見 洋明支部長,大石 博之副支部長,矢野 健二代表幹事,安達 浩平,碓井 敏彦,宇都 忠和,宇都 秀幸,

梅崎 基考,小野山 裕治,川口 小由美,小泉 友美,島内 健,新谷 俊一,田中慎吾,徳田 充樹,永井 宏,中川 将,中司 龍明,縄田 徳広,松崎 達二,森 秀樹,矢田 純,山田 好之助 各役員

欠席者:-

(23名中23名出席により総勢23名であり,幹事会は成立)

#### (4) 議事内容

- 1) 前回幹事会議事録
- 2) 令和6・7年度事業等報告・予定(講習会,見学会,研究発表会,会報,広報)
- 3) 令和6・7年度その他事業報告・予定(魅力発信特別委員会,先進建設・防災・減災技術フェア in 熊本2024,九州災害碑WG)
- 4) 本部連絡事項
- 5) その他連絡・審議事項

#### 【事業】

講演会・見学会・講習会・研究発表会・会報発行

##### <講演会>

九州応用地質学会との共催で実施.

(1) 日 時:令和6年5月31日(金) 13:15~17:35

(2) 場 所:電気ビル共創館3FカンファレンスC  
(リモート併用)

(3) 参加人員:108名(内オンライン58名)

(4) 内容と講師

##### ・特別講演1

『情報技術を活用した九州における斜面管理の取組み』

講師:本田 博之様(九州大学 工学研究院付属  
アジア防災研究センター 助教)

##### ・特別講演2

『Strategic management of water in Erbil governorate  
(イラク エルビル県の戦略的な水の管理)』

講師:Dr. Hersh Shkak 様(クルディスタン地域  
政府環境保護改善委員会の環境研究所部門  
責任者)

通訳:飯島康夫様((株)アクア・エンジニアリング)

##### <講習会>

九州応用地質学会との共催で実施.

(1) 日 時:令和6年9月19日(木)

(2) 場 所:JR博多シティ会議室 9階 中会議室1

(福岡市博多区博多駅中央街1-1)

(3) テー マ:『九州の活断層と能登半島地震災害事例より  
学ぶ』

(4) 参加人員:94名(会場57名・リモート37名[当日欠席3名])

(5) 内容と講師

- ・九州地域の活断層の長期評価  
以降の九州地域の活断層調査  
講師：宮下 由香里 様（国立研究開発法人産業技術総合研究所活断層・火山研究部総括研究主幹）
- ・令和6年能登半島地震の地質災害  
- 地域地質学の視点から -  
講師：塚脇 真二 様（金沢大学環日本海地域環境研究センター・陸域環境領域教授）

- ・発表4 地表踏査による地すべり移動体の識別と地質調査（脇山 涼輔）
- ・発表5 測定不能となった孔内傾斜計観測を再生させた事例 小型傾斜計「するする傾斜計」（香取 祥人）
- ・発表6 一級河川松浦川沿い伊万里市旧大川野宿輪中および日水留村の洪水伝承碑の地形・地質的背景の考察（山田 好之助）
- ・発表7 大分ジオパークに分布する地質遺産の3次元計測（池見 洋明）

<見学会>

九州応用地質学会との共催で実施。福岡県地質業協会の後援を得て実施。

- (1) 日 時：令和6年11月8日（金）
- (2) 場 所：熊本県上益城郡山都町（通潤橋，五老ヶ滝）
- (3) テー マ：『国宝 通潤橋と阿蘇火砕流堆積物を巡る』
- (4) 参加人員：32名（内訳 個人会員21名 賛助会員11名[当日欠席1名]）
- (5) 見学工程：  
博多駅筑紫口 通潤橋資料館見学 放水見学 五老ヶ滝見学（阿蘇火砕流観察） 霊台橋見学 二俣橋，八角トンネル見学 博多駅

(6) 優秀発表賞

- ・『測定不能となった孔内傾斜計観測を再生させた事例 小型傾斜計「するする傾斜計」』（香取 祥人）

<会報発行>

- 九州応用地質学会との共催で実施。
- (1) 発行日：令和7年3月31日
- (2) 発行部数：622部

その他事業報告

<魅力発信特別委員会>

- 九州応用地質学会との共催で実施。
- (1) 会議

年度内に5回の委員会を開催。

- ・第1回 令和6年7月10日(宇都,大石,小野山,森田)
- ・第2回 令和6年9月30日(宇都,大石,小野山,森田)
- ・第3回 令和6年11月26日(宇都,大石,小野山,森田)
- ・第4回 令和7年2月6日(宇都,大石,小野山,森田)
- ・第5回 令和7年4月11日(宇都,大石,小野山,森田)

(2) 活動実績

- ・[提供型：文献データベース&フォトギャラリー]の作成
- ・[体験型：立体模型を活用した地質解析講習]のプランニングと立体模型(試作版)作成
- ・[提供+体験型デジタルコンテンツ：マイクラフトで体験する応用地質の世界]のプランニング。

<研究発表会>

九州応用地質学会との共催で実施。

- (1) 日 時：令和6年11月14日（木）13:00~16:30
- (2) 場 所：福岡県中小企業センター（福岡市博多区吉塚）  
（オンライン配信併用）
- (3) 参加人数：74名（内訳 会場49名，オンライン21名[当日欠席4名] 会員67名・非会員7名・学生0名）
- (4) 特別講演：
  - ・講演タイトル：『能登半島地震災害調査報告』
  - ・講師：（一社）日本応用地質学会能登半島地震災害調査団 加藤 靖郎 様（川崎地質株式会社）
- (5) 一般発表：口頭発表7編
  - ・発表1 鹿児島県霧島市溝辺町・隼人町に分布する火砕流堆積物・北薩火山岩類および湖沼堆積物の層序と道路建設にあたっての応用地質学的予察（坂本 航汰）
  - ・発表2 ダム基礎部における岩盤の透水性状検討事例（井芹 優一）
  - ・発表3 目に見えない震源断層の探し方 - 2000年鳥取県西部地震と令和6年能登半島地震 -（吉村辰朗）

<先進建設・防災・減災技術フェア in 熊本 2024>

九州応用地質学会との共催で実施。

- (1) 日 時：令和6年11月20日（水）~21日（木）
- (2) 場 所：グランメッセ熊本  
（熊本県上益城郡益城町福富 1010）
- (3) 展示参加者：10名
- (4) 会場来場者：6,753人（11/20 3,819人，11/21 2,934人）

(5) 展示内容：

- ・『令和6年能登半島地震から学ぶ 安全・安心な未来へ』  
をテーマにポスター，災害調査団報告書，支部会報，  
等を展示

内 容：

- ・ポスター展示：  
「2024年能登半島地震により町野細寺山地区で発生し  
た大規模地すべりの高解像度UAV測量」  
「九州の自然災害伝承碑について」
- ・ポスター展示：学会紹介
- ・映写：能登半島地震 被害状況の空撮動画
- ・出版物の展示紹介：熊本地震・西日本豪雨等の災害調査団  
報告書、支部会報、40周年記念論文集 等

参加者：1日目：梅崎 基考，川口 小由美，小泉 友美，  
知花 正光，中司 龍明，縄田 徳広，  
矢野 健二 7名

2日目：梅崎 基考，小泉 友美，島内 健，  
知花 正光，中川 将，縄田 徳広，  
矢野 健二，山田 好之助 8名

## 2. 令和6年度 収支決算報告

令和7年3月31日現在

科 目	費目の定義	令和5年度決算	令和6年度予算	令和6年度決算	備考
<b>事業活動収支の部</b>					
1. 事業活動収入					
<b>会 費 収 入</b>		0	0	0	
正会員受取会費		0	0	0	
学生会員受取会費		0	0	0	
賛助会員受取会費		0	0	0	
国際会員受取会費		0	0	0	
国際賛助会員受取会費		0	0	0	
<b>寄 付 金 収 入</b>		0	0	0	
<b>事 業 収 入</b>		0	306,000	419,000	
学術集会事業収益	研究発表会・見学会・講習会参加費、シンポジウム懇親会会費等	0	306,000	419,000	講習会144,000円 見学会47,000円 研究発表会42,000円 総会意見交換会186,000円
学会誌発行収益	別刷り代、超過ページ代、カラー印刷代	0	0	0	
会誌等頒布収益	バックナンバー、書籍、研究発表会論文集、シンポ予稿集	0	0	0	
定期購読料収益		0	0	0	
広告掲載料収益		0	0	0	
研究発表会 意見交換会参加費	意見交換会参加費	0	0	0	
<b>受 取 助 成 金</b>	本部からの助成交付金	300,000	300,000	300,000	令和6年度 7/5本部から受領
書籍販売					本部からの委託販売(支部会計に計上しない)
<b>雑 収 入</b>		0	0	68	
受 取 利 息		0	0	68	受取利息
雑 収 益		0	0	0	
<b>事業活動収入計</b>		300,000	606,000	719,068	令和6年度事業活動費
2. 事業活動支出					
<b>事 業 費 支 出</b>		298,014	655,009	697,893	
人 件 費	総会、見学会・講習会の講師謝礼、研究発表会の講師謝礼	89,096	133,644	131,730	総会2名(42,634円)、講習会2名(44,548円)、見学会1名(22,274円)、研究発表会1名(22,274円)(謝金20,000+源泉徴収税2,274)
旅費交通費	学術集会事業、学会誌発行事業、研究調査事業の特別講師の旅費等	55,690	117,000	119,575	講師の交通・宿泊費等 講習会(塚脇様75,080円) 研究発表会(加藤様44,495円) 総会(0円)熊本フェア(0円)
通信運搬費	学術集会事業等の郵送・運搬費、学会誌用ラッピングフィルム印刷を含む等	4,538	20,000	16,988	資料・案内送付他 講習会(1,112円)、見学会(880円) 研究発表会(880円)、総会(346円)、委嘱状発送(4,178円)、No.45 GET九州封入作業(9592円) (未計上No.46 GET九州5,000円 R7年計上予定)
消耗品費	その他事務用品・消耗品	14,487	15,000	0	計上予定:支部ノートPC teams・セキュリティソフト(年更新)他
印刷製本費	研究発表会論文集、研究発表会ボスター、シンポジウム予稿集、見学会資料、講習会資料、総会資料、学会誌印刷、別刷り印刷、編集補助費	27,620	105,000	147,829	総会(54,285円)、講習会(352円) 見学会(3,278円) 熊本フェア展示用A3(36,300円) GET九州No.46印刷費(52,976円)、送り状印刷費(638円)
会 議 費	各種会議・シンポジウム懇親会等	7,000	168,000	193,036	総会意見交換会(会費6,000円×31名=186,000円) 講習会(232円) 研究発表会(0円) 熊本フェア弁当(6,804円)
賃 借 料	研究発表会・講習会会場費、設備使用料、見学会レンタカー・バス代等	23,760	91,000	83,160	総会(37,400円)講習会(19,800円) 見学会(0円)先進建設・防災・減災技術フェアin熊本(25,960円)
雑 費	研究発表会、見学会・講習会、総会手数料	75,823	5,365	5,575	総会(880+845円)、講習会(1,265円)、研究発表会(1210円)、先進建設・防災・減災技術フェアin熊本(880円) GET九州振込手数料(165+330円)
その他事業費	支部交付金(本部のみ)、地域研究会への補助金・協賛金、WG研究活動費	0	0	0	
<b>事業活動支出計</b>		298,014	655,009	697,893	
事業活動収支差額		1,986	-49,009	21,175	
当期収支差額		1,986	-49,009	21,175	
<b>前年度繰越金</b>		47,023	49,009	49,009	令和5年度繰越金
<b>次年度繰越金</b>		49,009	0	70,184	

### 3. 令和6年度 監査報告

一般社団法人 日本応用地質学会九州支部 会計監査報告

一般社団法人 日本応用地質学会九州支部

令和7年3月31日現在

#### 現 預 金 明 細

(単位:円)

日本応用地質学会九州支部		
預金名	預金口座	金 額
銀行普通預金	福岡銀行 原支店 489418	70,184

#### 監 査 報 告

令和7年5月9日に関係書類及び証拠書類を監査した結果、令和6年度における一般社団法人日本応用地質学会九州支部の収入、支出は適正かつ正確に経理されていること、並びに一般社団法人日本応用地質学会九州支部の貸借対照表、損益計算書及び財産目録は、法人の財産及び損益の状況を適正に表示していることを確認した。

令和7年5月9日

一般社団法人日本応用地質学会九州支部 会計監事

萩野晃平 

萩野隆吾 

## 4. 令和7年度 事業計画

### 【会議】

#### 第47回通常総会

- (1) 日 時：令和7年5月30日(金) 14:45～16:05
- (2) 場 所：共創館3階カンファレンスC(リモート併用)
- (3) 内 容：
  - ・令和6年度事業報告
  - ・令和6年度決算報告
  - ・令和6年度監査報告
  - ・令和7年度事業計画
  - ・令和7年度事業予算
  - ・令和7年度役員改選

### 幹事会

#### 第6回幹事会(令和6年度幹事会)

- (1) 日 時：令和7年4月18日(金) 17:30～20:00
- (2) 場 所：応用地質株式会社 大会議室

#### 第1回幹事会

- (1) 日 時：令和7年6月開催予定
- (2) 場 所：日本工営株式会社 会議室

#### 第2回幹事会

- (1) 日 時：令和7年8月開催予定
- (2) 場 所：日本工営株式会社 会議室

#### 第3回幹事会

- (1) 日 時：令和7年10月開催予定
- (2) 場 所：日本工営株式会社 会議室

#### 第4回幹事会

- (1) 日 時：令和7年12月開催予定
- (2) 場 所：日本工営株式会社 会議室

#### 第5回幹事会

- (1) 日 時：令和8年2月開催予定
- (2) 場 所：日本工営株式会社 会議室

### 【事業】

#### 講演会・見学会・講習会・研究発表会・会報発行

##### <講演会>

九州応用地質学会との共催で実施。

- (1) 日 時：令和7年5月30日(金) 13:15～17:35
- (2) 場 所：共創館3階カンファレンスC(リモート併用)
- (3) 内容と講師
  - ・特別講演1  
『目に見えない水資源「地下水」を見るためのアプローチ』  
講師：利部 慎先 様(長崎大学大学院水産・環境科学  
総合研究科環境科学部 准教授)
  - ・特別講演2  
『自然地理学と災害対応』  
講師：岩佐 佳哉 様(福岡教育大学 教育学部  
社会科教育研究ユニット 講師)

##### <講習会>

九州応用地質学会との共催で実施。

- (1) 日 時：令和7年10月 開催予定
- (2) 場 所：福岡県福岡市周辺(予定)
- (3) テーマ：『地表踏査から始まる地質調査実習』(仮称)
- (4) 概 要：近年では野外調査の手法を体系的に学習し、習得する環境が少なくなっており、踏査技術の向上が求められている。今年度は若手技術者の基礎技術の体得を目指し、デジタルツールを活用しながらの野外講習と、初歩的な地質図学の基礎を踏まえた土木・応用地質学への活用を学ぶために、講習会を企画する。
- (5) 内 容：九州応用地質学会幹事による現地講習(岩種判定・地層計測・ルートマップ作成ほか)室内講習(地質図・地質断面図作成ほか)

##### <見学会>

九州応用地質学会との共催で実施。

- (1) 日 時：令和7年11月7日 開催予定
- (2) 場 所：鹿児島県 桜島
- (3) テーマ：桜島のジオツアーと火山防災最前線の見学
- (4) 概 要：会員相互の親睦および技術の研鑽を目的として、見学会を実施する。募集人数30名程度を予定している。今年、鹿児島県に集合して、桜島の地質・地史・火山活動が活発な桜島において、普段立ち入りのできない火山防砂施設(雨天時変更有)の見学を予定している。

#### <研究発表会>

九州応用地質学会との共催で実施。

- (1) 日 時：令和7年11月27日 開催予定
- (2) 場 所：福岡県中小企業振興センター予定  
(オンライン配信併用予定)
- (3) 概 要：対面とオンラインを併用したハイブリッド形式とする。口頭・ポスターによる一般発表を予定している。本年度も若手会員の発表を奨励するため、優秀発表賞を継続する。
- (4) 特別講演：検討中

#### <会報発行>

九州応用地質学会との協働で実施。

- (1) 発 行 日：令和8年3月31日予定
- (2) 発行部数：624部予定

#### 広報・アウトリーチ活動

##### <広報委員会>

九州応用地質学会との協働で実施。

- (1) 活動内容：事務局と協働して kyushu-jseg ニュースの配信、また、ホームページの運用管理を通じて、学会内外への情報発信を行う。

#### <先進建設・防災・減災技術フェア in 熊本 2025>

- (1) 日 時：令和7年11月19日(水)～20日(木)
- (2) 場 所：グランメッセ熊本  
(熊本県上益城郡益城町福富 1010)
- (3) 展示内容：学会の活動報告について講演・展示等(内容等について検討中)

#### その他事業

##### <魅力発信>

九州応用地質学会との協働で実施。

- (1) 活動内容：
  - ・[文献データベース&フォトギャラリー]の公開・運用開始予定(運用開始後は広報委員会に移管)
  - ・[立体模型を活用した地質解析講習]の講習マニュアル及び立会模型完成予定(成果物を講習会委員会に移管)
  - ・[マイクラフトで体験する応用地質の世界]のアウトリーチ用モデル作成、利用マニュアル(案)の検討

## 5. 令和7年度 事業予算(案)

科 目	費目の定義	令和6年度予算	令和6年度 決算	令和7年度 予算	備考
<b>事業活動収支の部</b>					
1. 事業活動収入					
<b>会 費 収 入</b>		<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
正会員受取会費		0	0	0	
学生会員受取会費		0	0	0	
賛助会員受取会費		0	0	0	
国際会員受取会費		0	0	0	
国際賛助会員受取会費		0	0	0	
<b>寄 付 金 収 入</b>		<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>事 業 収 入</b>		<b>306,000</b>	<b>419,000</b>	<b>325,000</b>	
学術集会事業収益	研究発表会・見学会・講習会参加費、シンポジウム懇親会会費等	306,000	419,000	325,000	講習会36,000円 見学会30,000円 研究発表会42,000円 総会意見交換会217,000円
学会誌発行収益	別刷り代、超過ページ代、カラー印刷代	0	0	0	
会誌等頒布収益	バックナンバー、書籍、研究発表会論文集、シンポ予稿集	0	0	0	
定期購読料収益		0	0	0	
広告掲載料収益		0	0	0	
研究発表会 意見交換会参加費	意見交換会参加費	0	0	0	
<b>受 取 助 成 金</b>		<b>300,000</b>	<b>300,000</b>	<b>305,000</b>	令和7年度
書籍販売					本部からの委託販売(支部会計に計上しない)
<b>雑 収 入</b>		<b>0</b>	<b>68</b>	<b>0</b>	
受 取 利 息		0	68	0	受取利息
雑 収 益		0	0	0	
<b>事業活動収入計</b>		<b>606,000</b>	<b>719,068</b>	<b>630,000</b>	令和6年度事業活動費
2. 事業活動支出					
<b>事 業 費 支 出</b>		<b>655,009</b>	<b>697,893</b>	<b>700,184</b>	
人 件 費	総会、見学会・講習会の講師謝礼、研究発表会の講師謝礼	133,644	132,575	111,370	総会2名、見学会2名、研究発表会1名で講師5名を想定(謝金20,000+源泉徴収税2,274)
旅費交通費	学術集会事業、学会誌発行事業、研究調査事業の特別講師の旅費等	117,000	119,575	35,000	講師の交通・宿泊費等 講習会(10,000円) 研究発表会(25,000円)
通信運搬費	学術集会事業等の郵送・運搬費、学会誌用タブレット印刷を含む等	20,000	7,396	47,130	資料・案内送付他 講習会(7,500円)、見学会(1,300円) 研究発表会(1,200円)、総会(650円) No.46・47GET九州18,240円×2
消耗品費	その他事務用品・消耗品	15,000	0	15,000	計上予定:支部ノートPC teams・セキュリティソフト(年更新)他
印刷製本費	研究発表会論文集、研究発表会ポスター、シンポジウム予稿集、見学会資料、講習会資料、総会資料、学会誌印刷、別刷り印刷、編集補助費	105,000	157,421	176,300	総会(55,000円)、講習会(15,000円) 見学会(5,000円) 熊本フェア展示用紙A3-(36,300円) No.47GET九州印刷費(65,000円)
会 議 費	各種会議・シンポジウム懇親会等	168,000	193,036	239,100	総会意見交換会217,000円 講習会(10,000円) 見学会(5,100円) 研究発表会(0円) 熊本フェア弁当(7,000円)
賃 借 料	研究発表会・講習会会場費、設備使用料、見学会レンタカー・バス代等	91,000	83,160	71,000	総会(40,000円)講習会(5,000円) 見学会(0円)先進建設・防災・減災技術フェアin熊本(26,000円)
雑 費	研究発表会、見学会・講習会、総会手数料	5,365	4,730	5,284	総会(1,000円)、講習会(1,000円)、研究発表会(1,300円)、先進建設・防災・減災技術フェアin熊本(1,000円)GET九州振込手数料等
その他事業費	支部交付金(本部のみ)、地域研究会への補助金・協賛金、WG研究活動費	0	0	0	
<b>事業活動支出計</b>		<b>655,009</b>	<b>697,893</b>	<b>700,184</b>	
事業活動収支差額		<b>-49,009</b>	<b>21,175</b>	<b>-70,184</b>	
当期収支差額		<b>-49,009</b>	<b>21,175</b>	<b>-70,184</b>	
<b>前年度繰越金</b>		<b>49,009</b>	<b>49,009</b>	<b>70,184</b>	令和6年度繰越金
<b>次年度繰越金</b>		<b>0</b>	<b>70,184</b>	<b>0</b>	

## 6. 令和7年度 役員改選

・幹事新規： 1名

役職	旧		新	
	氏名	所属	氏名	所属
幹事	-	-	たなか しんご 田中 慎吾	基礎地盤コンサルタンツ株 式会社九州支社（新規）

### 関連規定

第7条 支部に規則第99条により、次の支部役員をおく。

- 一 支部長：1名
- 二 副支部長：若干名
- 三 幹事：若干名
- 四 会計監事：若干名

前項の役員その他、必要により代表幹事1名をおくことができる。

（支部役員の選任及び委嘱）

第8条 規則第100条に定める支部役員の選任及び委嘱は、次項のとおりとする。

支部役員は支部総会において支部会員のうち一般社団法人日本応用地質学会の正会員の中から選任し、支部長が委嘱する。

会計監事は他の役員を兼ねることはできない。

（支部役員の任期）

第11条 支部役員の任期は2年とし、選任されたその支部総会から翌々年の定時支部総会までとする。ただし、再任を妨げない。

(一社) 日本応用地質学会 九州支部 役員名簿案 (令和7年度)

[ 支部長 ]

池見 洋明 日本文理大学工学部教授

[ 副支部長 ]

大石 博之 西日本技術開発株式会社

[ 顧問 ]

岩尾 雄四郎 佐賀大学名誉教授  
岩松 暉 鹿児島大学名誉教授  
平田 和彦 株式会社創建  
黒木 貴一 関西大学文学部教授

[ 代表幹事 ]

矢野 健二 株式会社ジオテック技術士事務所

[ 幹事 ]

安達 浩平 日本工営株式会社福岡支店  
碓井 敏彦 新日本グラウト工業株式会社  
宇都 忠和 株式会社アーステクノ  
宇都 秀幸 株式会社エース九州支社  
梅崎 基考 株式会社アバンス  
小野山 裕治 国際航業株式会社  
川口 小由美 応用地質株式会社九州事務所  
小泉 友美 株式会社九州地質コンサルタント  
島内 健 日本地研株式会社  
新谷 俊一 大日本ダイヤコンサルタント株式会社九州支社  
**田中 慎吾** 基礎地盤コンサルタント株式会社  
徳田 充樹 新地研工業株式会社  
永井 宏樹 株式会社昭和ボーリング  
中川 将 八千代エンジニアリング株式会社九州支店  
中司 龍明 株式会社長崎地研  
縄田 徳広 明大工業株式会社  
松崎 達二 サンコーコンサルタント株式会社  
森 秀樹 日鉄鉱コンサルタント株式会社  
矢田 純 株式会社カミナガ  
山田 好之助 藤永地建株式会社

[ 会計監事 ]

萩野 晃平 国際航業株式会社 九州技術部長  
牧野 隆吾 日鉄鉱コンサルタント株式会社九州本社

【報告】 1. 令和 7 年度 委員会構成

R7 年度委員会委員構成案（日本応用地質学会九州支部）

支部長	池見	
副支部長	大石	
代表幹事	矢野	
事務局長	安達	
常置委員会	講習会	島内 川口 徳田 森
	見学会	新谷 永井
	研究発表会	梅崎 碓井
	会報発行	宇都 <sub>秀</sub> 山田 矢野
	広報	小泉 中司 縄田 中川
特別委員会	魅力発信	宇都 <sub>忠</sub> 小野山 大石

太字は委員長 下線は令和 7 年度からの変更

関連規定

（支部委員会）

第 18 条 支部は業務の円滑を図るため、支部委員会等を設置することができる。

支部委員会等に関する事項は、支部役員会が定める。

【報告】 2. 会員動向

支部会員数	189 名（令和 7 年 4 月 14 日時点）
令和 5 年度末	187 名
令和 4 年度末	184 名
令和 3 年度末	185 名
令和 2 年度末	195 名

# 「一般社団法人日本応用地質学会 九州支部運営規程」

平成 22 年 7 月 1 日 制定

平成 23 年 2 月 25 日 改定

令和元年 5 月 20 日 改定

令和 4 年 12 月 21 日 改定

## 第 1 章 総 則

(名称)

第 1 条 当支部は、一般社団法人日本応用地質学会九州支部（以下「支部」という）と称する。

(構成)

第 2 条 支部は、規則第 97 条に定める九州支部の範囲の会員をもって組織する。

(目的)

第 3 条 支部は、九州地区における応用地質学に関する調査・研究の推進と技術の進歩普及、及び支部会員相互の交流を図ることを目的とする。

(事業)

第 4 条 支部は前条の目的を達成するため次の事業を行う。

- 一 講演会、研究発表会、見学会等の開催
- 二 支部長から委嘱された事業
- 三 支部活動の広報
- 四 本部及び各支部との連絡と情報の交換を図ること。
- 五 関連学協会との連絡及び協力
- 六 その他、必要と認められた事業

## 第 2 章 会 員

(会員)

第 5 条 支部会員は九州地区に居住又は勤務先を有する一般社団法人日本応用地質学会の会員（正会員、学生会員、名誉会員）とする。なお、支部会員は複数の支部に属することはできない。

支部には、前項の会員の他に支部の目的に賛同し、支部の事業を援助するための支部賛助会員を設けることができる。

(会員の入退会)

第 6 条 第 5 条第 項の支部会員は、一般社団法人日本応用地質学会への入会をもって会員とし、退会したときに支部も退会とする。

支部会員は、転居又は異動により当該支部の地区に居住又は勤務しなくなったときは、所属支部を当該支部から新たな居住又は勤務先の地区の支部に変更する。

賛助会員を設けた場合の賛助会員の入会及び退会の承認は支部役員会にて行う。

## 第 3 章 支部役員

(支部役員)

第 7 条 支部に規則第 99 条により、次の支部役員をおく。

- 一 支部長：1 名
- 二 副支部長：若干名
- 三 幹事：若干名
- 四 会計監事：若干名

前項の役員その他、必要により代表幹事 1 名をおくことができる。

(支部役員の選任及び委嘱)

第 8 条 規則第 100 条に定める支部役員の選任及び委嘱は、次項のとおりとする。

支部役員は支部総会において支部会員のうち一般社団法人日本応用地質学会の正会員の中から選任し、支部長が委嘱する。

会計監事は他の役員を兼ねることはできない。

(支部役員の解任)

第 9 条 支部役員はいつでも支部総会の決議によって解任することができる。

(支部役員の職務)

第 10 条 支部長は支部を代表し、支部総会及び役員会の議長となるほか、支部に関する会務を統括する。

副支部長は支部長を補佐し、支部長に事故あるときはその職務を代行する。

幹事は支部長を補佐し、支部会務を執行する。

会計監事は支部の会計を監査する。また役員会に出席して、その職務について意見を述べるることができる。

代表幹事を第 7 条第 項により設置した場合には、代表幹事は役員会の代表として支部長を補佐し、支部会務を代表して執行する。

(支部役員の任期)

第 11 条 支部役員の任期は 2 年とし、選任されたその支部総会から翌々年の定時支部総会までとする。ただし、再任を妨げない。

支部役員に欠損が生じ、支部長が補充の必要を認めるときは、支部長は支部役員会の承認を受けて補充する。

補充された支部役員の任期は、前任者の残任期間とする。

支部役員は任期満了後も後任者の就任が決まるまでは引き続きその任務を行う。

支部役員は、所属支部を変えたとき直ちに支部長に報告し、その任を辞さなければならない。

(報酬)

第 12 条 支部役員は無給とする。

## 第 4 章 会 議

(会議)

第 13 条 支部の会議は支部総会及び支部役員会とし、支部総会は定時支部総会及び臨時支部総会とする。  
定時支部総会は毎年 1 回事業年度終了後 2 ヶ月以内に開催する。  
臨時支部総会は支部長が必要と認めたときに開催する。  
支部役員会は支部長が必要と認めたときに開催する。

(支部総会)

第 14 条 支部総会は、本規程に定めるもののほか、次の事項を決議する。

- 一 事業計画及び収支予算についての事項
- 二 事業報告及び収支決算についての事項
- 三 その他、支部の運営に関する事項

(支部総会決議)

第 15 条 支部総会は、支部会員のうち一般社団法人日本応用地質学会の正会員をもって構成し、正会員の 5 分の 1 以上の出席を要する。ただし、委任状も含む。

支部総会の決議は、出席会員の過半数をもって行い、可否同数のときは議長がこれを決定する。

(支部役員会)

第 16 条 支部役員会は、本規定に定めるもののほか、次の事項を決議する。

- 一 支部総会に付議すべき事項
- 二 支部総会の決議した事項の執行に関する事項
- 三 その他、支部総会の決議を要しない会務の執行に関する事項

(支部役員会の構成及び決議)

第 17 条 支部役員会は、支部長、副支部長、幹事及び代表幹事を設けた場合には代表幹事並びに必要なに応じて会計監事をもって構成し、構成員の過半数の出席を要する。

役員会の決議は第 15 条に準ずる。

(支部委員会)

第 18 条 支部は業務の円滑を図るため、支部委員会等を設置することができる。

支部委員会等に関する事項は、支部役員会が定める。

## 第 5 章 支部顧問

(支部顧問)

第 19 条 支部は、必要に応じて支部顧問を若干名おくことができる。

支部顧問は、役員会で選任し、支部長が委嘱する。

支部顧問は、支部の運営に関する重要事項について支部長の諮問に応じる。

## 第 6 章 会 計

(事業年度)

第 20 条 支部の事業年度は、毎年 4 月 1 日に始まり翌年 3 月 31 日に終わる。

(経費)

第 21 条 支部の経費は、規則第 101 条第 項により、本部交付金、協賛金、行事参加費、その他の収入をもって支弁する。

支部において 10 万円を超える資産を購入する場合は、事前に本部(常務理事)に申請しなければならない。

常務理事は、申請された資産の購入に対し総務委員会で審議し、必要と認められた場合理事会に諮るものとする。

理事会で承認された場合は、財産目録に計上し、資産の管理は支部が行うものとする。

(支部の事業報告及び決算)

第 22 条 支部長は、毎事業年度の終了後、事業報告書及び収支決算書を作成し、会計監事による監査を受け、支部総会の承認を得なければならない。

支部長は、本部交付金を含む収支について、四半期(6 月、9 月、12 月、3 月)ごとに代表理事たる支部長に報告しなければならない。

(会計監査)

第 23 条 会計監事は、会計監査をし、その結果を支部総会に報告しなければならない。

(支部の事業計画及び予算)

第 24 条 支部長は、毎事業年度に事業計画書及び収支予算書を作成し、支部総会の承認を得なければならない。

(支部事業の報告)

第 25 条 支部長は、規則第 103 条第 項により、毎事業年度の事業計画及び収支予算を毎事業年度開始日の前日までに支部長に報告しなければならない。

支部長は、規則第 103 条第 項により、毎事業年度の事業報告及び収支決算を毎事業年度終了後、支部長に報告しなければならない。

支部長又はその他の支部役員は、規則第 103 条第 項により、支部の活動報告等を理事会や総務委員会等を通じて定期的に報告することとする。

## 第 7 章 支部事務局

(事務局)

第 26 条 支部の事務処理のため支部事務局を置く。

支部事務局に関する事項は支部役員会で定める。

## 第 8 章 雑 則

(支部内規)

第 27 条 支部長は、会務の運営上必要な事項に関する支部内規を作成することができる。

## 附則

(規程の制定、変更及び廃止)

第 1 条 本規程は、理事会の承認(平成 22 年 5 月 14 日)をもって施行する。

本規程の変更及び廃止は、支部総会の決議を経て、かつ理事会の承認を得なければならない。